

平成27年度警察庁補正予算の概要

○喫緊の治安上の課題への対応 10,100百万円

第1 緊急テロ対策 7,655百万円

1 平成28年伊勢志摩サミット警戒警備の実施 **1,388百万円**

伊勢志摩サミット及び関係閣僚会合の開催に向け、警戒警備の実施に必要な資機材等を整備するもの。

2 国際テロ情勢等を踏まえたテロ対策の強化 **6,267百万円**

シリアにおける邦人殺害テロ事件、フランス・パリにおける同時多発テロ事件の発生など、急速に高まるテロの脅威に備えるため、テロの未然防止に向けた情報収集・分析の強化及びテロ対処能力の強化に必要な資機材等を整備するもの。

第2 暴力団対策の強化 1,937百万円

指定暴力団六代目山口組が分裂し、一部傘下組織が「神戸山口組」を設立したことにより、対立抗争事件の発生が懸念される所であり、両団体への取締の強化による対立抗争事件の未然防止及び発生時の捜査に必要な資機材を整備するもの。

第3 サイバー空間の脅威への対処 508百万円

日本年金機構を始めとする国内各地の様々な機関、団体、事業者等がサイバー攻撃被害に遭い、情報窃取等が発生する危機的状況となるなど、サイバー空間を取り巻く情勢が深刻化していることを踏まえ、不正プログラムの解析等を行うための資機材を整備するもの。